

## 第18期経営能力開発講座内容

### 【受講資格】

以下の条件を全て満たす者

- ・ 津山市に在住又は在勤する農商工業等の経営者・その後継者・管理者又はそれに準ずる者
- ・ 平成25年4月1日現在で満50歳以下の者
- ・ 過去の「経営能力開発講座」の受講回数が3回未満の者

	日程	講師等	概要	内容
平成 25 年度	第1回 平成25年 10月11日(金)	塾長	開講式・塾長講話 塾生の自己・自社紹介	塾の沿革 講座の趣旨企業での自分の役割 講座での自分の目標
	第2回 11月8日(金)	(株)オーディーエル 代表取締役 堀江龍一氏	経営講座 その1	リーダーシップ、コーチング等の手法について学ぶ
	第3回 12月13日(金)	オフィスピット 代表 久保田浩二氏	経営講座 その2	マネージメント、マーケティング分析等について学ぶ
	第4回 平成26年 1月10日(金)	(有)グレフコンサル 井原産業(株) 代表取締役 金原光広	経営講座 その3	財務・労務管理、経営課題の解決等について学ぶ
	第5回 2月14日(金)	企業見学 ・エバラ食品工業 ・池田精工(株)	経営の現場を見る その1	市内の企業を見学することで経営について肌で学ぶ
	第6回 3月14日(金)	山陽ロード工業(株) 代表取締役 秋田健仁氏	経営者の思いを聴く その1	経営者から企業沿革、理念等、会社についての思いを聞く
平成 26 年度	第7回 4月11日(金)	(株)脇木工 会長 脇利幸氏	経営者の思いを聴く その2	経営者から企業沿革、理念等、会社についての思いを聞く
	第8回 5月9日(金)	企業見学 (塾生希望企業)	経営の現場を見る その2	塾生の希望する企業を訪問し、現場を見学することで経営について肌で学ぶ
	第9回 6月13日(金)	オフィスピット 代表 久保田浩二氏	経営講座 その4	成果発表会に向け、効果的なプレゼンテーションについて学ぶ
	第10回 7月11日(金)	塾長	成果発表会	一年間の成果、反省、今後の目標等を発表する
	第11回 8月8日(金)	塾長	成果発表・塾長講話 閉講式(修了証書授与)	同上

## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第1回実施報告

- 1 日時 平成25年10月11日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 講義内容

今期で18期目を数えるつやま産業塾「経営能力開発講座」は、市内に在住又は在勤されている17名の塾生を迎えて開講式を開催しました。

開講式の冒頭、つやま産業塾塾長で岡山大学名誉教授でもある可児弘毅先生から、長岡藩の「米百俵」の話に基づき、つやま産業塾の財源である津山市人づくり基金のお話をされました。そして、「このつやま産業塾は、皆さんがさらに勉強していただくためのトリガー(切っ掛け)を提供するものです。後は皆さんがあらゆる機会を捉えて、精錬してください。また、この産業塾で出会う講師や仲間との人脈作りにも活用してください。」と講話されました。

その後、開講式に出席した塾生16名が自己・自社紹介をしました。一人の持ち時間が3分間と大変短い中、口頭やプロジェクターを使った紹介を行い、各塾生の仕事内容や目標・課題等を塾生間で共有しました。

これから約1年間、産業塾を受講することで、塾生の皆さんの目標・課題等が解決に向かい、企業や地域のリーダーに成長されることを期待しています。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第2回実施報告

1 日時 平成25年11月8日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター1階第1会議室

### 3 講義内容

経営能力開発講座第2回は、(株)オーディーエル代表取締役の堀江龍一氏を講師に迎え、「経営講座その1～経済低迷期の舵の取り方と従業員のやる気を引き出す関わり方について～」と題して、リーダーシップとコーチングについて学びました。

講座では、まず経済成長期と経済低迷期の人と組織の在り方の違いを教えてくださいました。前者では経営陣が社員に指示を行い、生産性、効率を上げるという方法が一般的でした。しかし、後者では、物がなかなか売れず、創造性、クオリティを上げていく必要がある時代の中で、自律した社員を育てる必要があります。そのために必要となるのがコーチングです。

堀江氏のコーチング手法は、選択理論からなり、人間は感情も含め、自分たちの行動の全てを自ら選んでいるということです。自律した社員を育てるためには、リーダーが支持をするのではなく、社員の目標等を聴き、その目標を達成するための計画を社員自らに選択させます。その様にすることで、社員は自分で選択した行動に責任を持って、仕事をしていきます。そのためには、職場で良い人間関係を築くことも重要となります。

講座内では、グループに分かれて、相手との関係を良くする言動・行動と、悪くする言動・行動を話し合いました。また、堀江氏と塾生を交えたコーチングのロールプレイも行いました。

講座を通し、コーチングの重要性と難しさを学ぶことが出来ました。職場だけでなく、家庭でも応用できる手法を学び、大変価値のある講座となりました。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第3回実施報告

- 1 日時 平成25年12月13日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター1階第1会議室
- 3 講義内容

経営能力開発講座第3回は、(株)ピットイン・リンクス代表取締役の久保田浩二氏を講師に迎え、「経営講座その2～成果を上げる組織マネジメント～」と題して、マネージメントとマーケティングについて学びました。

マーケティングでは、売り手と買い手の視点、市場・商品展開戦略、知的品質の差別化等の知識・手法を教えていただきました。普段、仕事で取り扱っている商品は、何がお客様にとって魅力のあるポイントなのかを常に考え、説明できるようになる必要性を感じました。

今回の講座では、特にマネージメントについて詳しく教えていただきました。リーダーは、経営者の考えだけでなく、経営理念の重要性や、それがどのように今の事業に繋がるかを伝えなければなりません。そして、そこから部下のモチベーションを上げていきます。経営者も同様で、現場で働いている人間に、自分の考えを伝える必要があります。

そのためには、人材育成研修等で、会社が求める人材とその理由を十分に知ってもらうことが必要であるとのことでした。

リーダーとして組織をまとめるには、部下とのコミュニケーションと「なぜ人は働くのか」ということを常に考えることが必要であると実感しました。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第4回実施報告

1 日時 平成26年1月10日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター1階第1会議室

### 3 講義内容

経営能力開発講座第4回は、井原産業(株)とグラフコンサル(有)の代表取締役を務める金原光広氏を講師に迎え、「経営講座その3～基盤を固める組織マネジメント～」と題して、財務・労務管理について学びました。

講座の冒頭、金原氏は、経営に1番大事なものは現状把握であり、そこから現状と目標のギャップ(=課題)を見出し、PDCAサイクルを行うと述べられました。

財務会計では、会社の財政状態を表した「貸借対照表」、決算期間の損益構造を示す「損益計算書」の見方と、その2つの表が会社の経営状況を知り、分析していく上で、いかに重要であるかという説明を受けました。

その他、簿記の基本的な仕組み、棚卸商品の決算時での影響、減価償却費の経費計上等について学びました。

今回、つやま産業塾に参加している塾生は、全てが会社の財務に携わっている者ばかりではありませんが、自分の会社の決算書等の経営資料を見て、勉強していくきっかけになるのではないかと思います。

後半の労務管理では、資料の説明を受けるだけでなく、「やる気がない社員、ネガティブな社員とどのように対応するか?」、「社員教育のあり方についてどのように考えるか?」をグループに分かれて、意見をまとめ、発表しました。

各グループでそれぞれの意見があり、講師だけでなく、一緒に勉強している塾生の意見を知る良い機会になったと思います。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第5回実施報告

1 日時 平成26年2月14日(金)

2 場所 エバラ食品工業(株)  
池田精工(株)

3 講義内容

「経営能力開発講座」第5回は、「経営の現場を見る その1」と題して、企業見学を行いました。

(1) エバラ食品工業(株)

エバラ食品工業(株)は、焼肉のたれ「黄金の味」でおなじみの食品メーカーです。

今回企業見学をさせていただいた津山工場は、津山中核工業団地内に所在し、平成6年から稼働しています。同社のその他の工場としては、東日本に2つの製造工場がありますが、津山工場は、西日本の製造拠点となります。

工場長からご説明頂いた津山工場では、原料受入 調合 殺菌 容器充填 包装 箱詰め 出荷というラインで商品の製造を行っていました。また、商品は全てシステム管理されており、お客様に安心・安全な商品を提供しているとのことでした。

その後、容器注入、包装等の製造ラインを見学させていただきました。実際に見た製造現場で一番に感じたことは、「人が少ない」でした。1日50万本という製造を69人の従業員で行っているというので、大企業の製造効率に衝撃を受けました。

その他、各種商品の歴史やマーケティング手段等、様々なお話をお聞きすることが出来ました。いつも使っている焼肉のたれも、津山市で製造されているということを考えると、より愛着を持って使えるような気がします。

見学風景



## (2) 池田精工(株)

池田精工(株)は津山総合流通センターに所在しており、ステンレスの加工を得意としている企業です。

今回の企業見学では、同社の代表取締役である池田晃氏から直接説明をしていただくことが出来ました。

津山地域は、大手ステンレス加工企業が津山市に進出したことをきっかけに、ステンレス産業が盛んになりました。池田精工(株)では、ステンレス産業の中心になるという高い志を持って事業を展開されています。生活していると必ず耳にする大手メーカーからも多数の受注があり、池田精工(株)が高い技術力を持っていることを伺えました。(前半で見学したエバラ食品の充填部品もこちらで製造されているそうです。)

加工現場の見学では、NCフライス盤、NC旋盤等、様々な加工機器を丁寧に説明していただきました。加工技術の高さというものは、社員の技術はもとより、加工機器の種類の豊富さも関係しているのだと感じました。また、見学中に社員の皆さんから気持ちよく挨拶していただいた点も印象に残りました。

経営者から直接、企業方針、事業展開、現場説明等をお聞きすることが出来、正に経営の現場を肌で感じる事が出来る企業見学となりました。

### 見学風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第6回実施報告

1 日時 平成26年3月14日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター2階大ホール

### 3 講義内容

経営能力開発講座第6回は、山陽ロード工業㈱の代表取締役を務める秋田健仁氏を講師に迎え、「経営者の思いを聴くその1～私の経営体験～」と題して、経営者による講演会を開催しました。

秋田氏は、平成2年に開催した第1期つやま産業塾の卒塾生であり、津山市人づくり事業運営委員会の会長でもあります。

また、今回は、産業塾OB・OGの方々14名にもご参加いただき、「新旧塾生交流特別講座」として開催しました。

山陽ロード工業は、その社名の通り、道路ライン・標識設置等の交通安全施設整備、橋梁補修工事、トンネル維持・補修工事等の様々な道路に関する事業をされています。その他にも、CO<sup>2</sup>削減効果もある土「ビゼンソイル」の販売、法面への太陽光パネルの設置提案等、環境・エネルギー事業にも取り組まれています。

講座では、創業者である秋田氏の父が、横断歩道のライン引きをする警察官を見て、道路整備事業を始めた経緯や、利益より企業としての信頼がいかに重要であるか、秋田氏が会社の最大の危機を経験して、強い経営体質を目指すお話等をお聞きしました。

また、経営者が率先して道德性を高め、社員の品性を向上させることで、会社の信頼や繁栄にも繋がるということでした。

秋田氏の講座では、社内の重要事項も隠すことなくお話しいただき、社会で働く一人間として大切なことを多数お聞きすることが出来ました。塾生達も、自分が働く理由を改めて考える良い機会になったと思います。

### 講座風景





第 18 期つやま産業塾第 7 回講座を下記の通り報告します

## 第 18 期つやま産業塾「経営能力開発講座」第 7 回実施報告

1 日時 平成 26 年 4 月 11 日（金）18：00～20：30

2 場所 津山圏域雇用労働センター1階 第 1 会議室

3 参加者 塾生：13 人

### 4 講義内容

経営能力開発講座第 7 回は、株式会社 脇木工の代表取締役会長を務める脇利幸氏を迎え、「経営者の思いを聴く その 2～家具製造と次世代への継承～」と題して講演会を開催しました。

株式会社 脇木工は、家具業界の中で最初に不況に陥った単品メーカーでありながら、そこから自社ブランド“MOMO HOUSE”を構築し、家具製造卸業から製造小売業への転身を図ったという歴史を持っています。

脇氏は、これまでの自社の発展について詳細に説明され、製造卸業から製造小売業へ転身する過程のエピソードや行動を裏付ける思考を説明されました。「1000 人のうち 1000 人が気に入るものづくりではなく、1000 人のうち 1 人が気に入るものづくりがしたい」という理念に基づいて家具を製作されており、「こうした考えを持って作った家具は個性が強いものになる」と語られ、そうして生まれた家具をいかに販売していくかという話に繋っていきました。

講演後の質疑応答では参加者からの質問にひとつひとつ丁寧に答えられ、テレビでも取り上げられたユニークな経営手法の実際など、組織のあり方やマネジメントについても触れられ、「従業員に責任を与える」ことの重要性を説かれていました。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第8回実施報告

1. 日時 平成26年5月9日(金)
2. 場所 中四国セキスイハイム工業株式会社  
三菱自動車工業株式会社 水島製作所
3. 講座内容

つやま産業塾経営能力開発講座第8回では、「経営の現場を見る その2」と題して企業見学を実施しました。

### (1) 中四国セキスイハイム工業株式会社

中四国セキスイハイム工業株式会社は、積水化学グループが供給するユニット住宅「セキスイハイム」の設計・製造を行われています。

岡山市東区に、鉄骨系ユニット住宅「セキスイハイム」を製造する本社工場と木質系ユニット住宅である「ツーユーホーム」を生産する九幡工場があり、今回は本社工場を訪問させていただきました。

セキスイハイムは、工場ボックス型のユニットを生産し、それらを建築現場で組み合わせ建築する住宅です。その歴史は1970年に発表された「ハイムM1」というモデルから始まり、北海道以外の全国で統一規格を使用し、品質管理と効率化を徹底されています。

岡山本社工場では1棟あたり12ユニットで構成されるセキスイハイムのユニットを、半期10,000ユニット程度生産されています。

生産ラインの見学では、ボックス型ユニットのフレームから完成に至るまでの過程を説明して頂きながら拝見し、効率化の徹底や作業精度保持の工夫を目の当たりにしました。

工場見学後は、「進・住まいのなるほど見聞館」に移動し、ユニットの構造や部材についての詳細な説明を聞くと共に、断熱性や地震への耐性を実際に体験し、学びを深めることができました。

### 見学風景



## (2) 三菱自動車工業株式会社 水島製作所

三菱自動車工業株式会社 水島製作所では、ek ワゴンや ek スペースを始めとして三菱が販売する軽自動車を全て生産し、その他にも普通車や電気自動車を生産されています。プレスから最終組立てまでの車作りの全行程作業が行われ、エンジン組立て・鋳物加工等も含んだ世界でも例の少ない一貫生産工場です。

生産ラインでは、溶接作業のほぼ全てが高精度ロボットの手によるもので、その他の組立作業でも細かい作業についてはロボットが担当していました。殆どの作業をロボットが担う溶接作業についても検査は人の目で行われ、しっかりと品質管理されています。組立作業ラインでは、次の車が流れてくるまで 60 秒という条件の下、技術者が効率的に部品取付を行うための無人部品運搬機など様々な工夫が凝らされていました。

こうした機械による効率化だけでなく、製作所内に技術研修の場として設けられた「ものづくり道場」や、担当工程をローテーションして多能工を育成するなど、「人」と「機械」の両面から作業精度を高め、製品品質を高めていく精神を学ぶことのできた見学でした。

### 見学風景



## 第 18 期つやま産業塾「経営能力開発講座」第 9 回実施報告

- 1 日時 平成 26 年 6 月 13 日 ( 金 ) 18 : 00 ~ 20 : 30
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター1階 第 1 会議室
- 3 参加者 塾生 : 13 人

### 4 講義内容

経営能力開発講座第 9 回は、株式会社ピットイン・リンクス代表取締役の久保田浩二先生を迎え、「経営講座 その 4 ~ プレゼンテーション成功の秘訣 ~ 」と題して開催しました。

まず講座の序盤では、久保田先生から「成果 = 方向性 × 能力 × やる気」「プレゼン = 慣れ × 準備」「原稿を読むプレゼンほど伝わらないプレゼンはない」といった多くのキーワードが提示され、プレゼンテーション成功の要点を説明されました。そうした核となる考え方の説明後、資料、発表方法、話し方等といったプレゼンテーションにまつわる事柄それぞれについて具体例を交えながら、詳細な説明をいただきました。話し方を例にとると、話すスピードの緩急や顔の向き、声の大きさや話し始めるタイミングなど細かな部分まで話が及ぶ実践的な内容となっていました。

今回の講義では、久保田先生が説明されているプレゼンテーション方法を、先生ご自身が講義で実践されているため、「これはさっき私がやっていた ですね」と実例を目の当たりにすることができるものでした。このように、説明されていることの実践を目にすることでより一層理解の深まる講義となっており、指南本等とは異なる講義の醍醐味を塾生の方々も感じられたのではないかと思います。

また、配布された資料内容にとどまらず、そこから派生するエピソードも数多くお話しいただき、「ビジネスパーソンとしての資質」や「いかに部下・後輩を成長させるか」など多岐に渡るお話しをお聞きしました。

### 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第10回実施報告

- 1 日時 平成26年7月11日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 参加者 塾生14名 人財バンク会員3名

### 4 講義内容

「経営能力開発講座」第10回では、つやま産業塾を一年間受講した成果を各塾生が発表しました。

事前に「塾生としてのこの一年間の成果(自己評価)」、「今後の課題と抱負」、「自分の経営能力開発に関し、塾での講座以外に取り組んでいるもの」、「仲間にひとこと」といった4項目についてレポートを提出し、一人10分の持ち時間で発表を行いました。

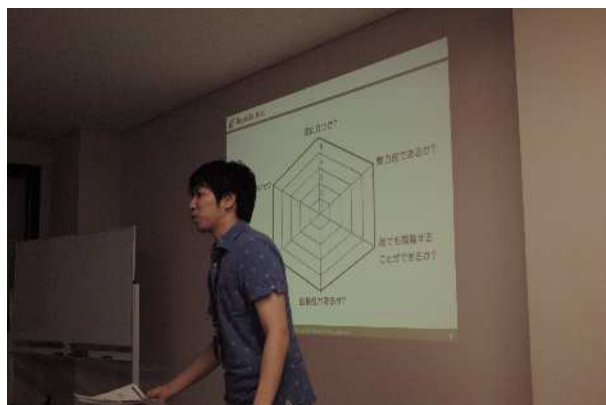
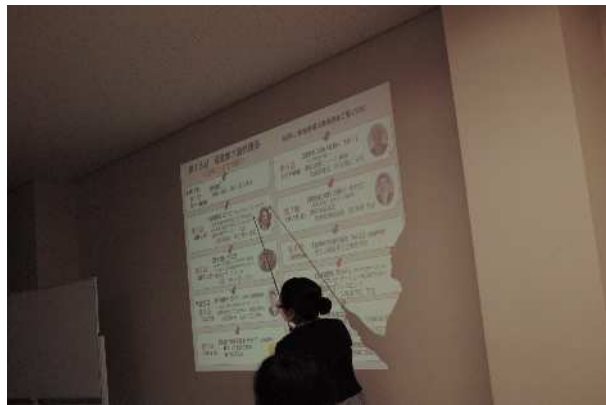
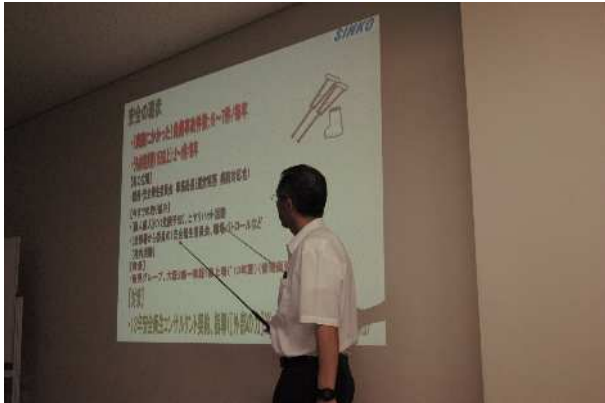
今回は、8人の塾生が発表しました。つやま産業塾で学んだことと日常業務の関わりを主としつつ、それぞれの現状と課題、一年間の実績や仲間へのアドバイス等、多種多様なプレゼンテーションとなりました。また、質疑応答でも活発な意見交換が行われました。

次回、経営能力開発講座第11回では、残りの塾生の発表と閉講式を行います。

### 塾生の意見・感想等

- ・ 「人を変えようと思っはいけない、自分は変わることができる。自分で選択して変わってもらいましょう」という堀江先生(経営能力開発講座第2回)の言葉は、今でも心に残っています。
- ・ 日々の忙しさで経営について考える時間が少なくなりがちでしたが、月1回でも産業塾に参加することで新たな知識を習得することができ、非常に良い刺激になりました。
- ・ 同じ境遇、立場の塾生と話すことで、他業界の様子を知ることができた。
- ・ 「経営者の思いを聴く」での「企業は人なり、人は品性なり」「経営者が率先して社員ともども道德性を高める」という言葉が印象に残っています。
- ・ 産業塾にはこれまでも参加したことがあったが、今回参加して進化した産業塾を感じた。
- ・ それぞれの講座は大変役立ちます。中でも「経営者の思いを聴く」は特に印象に残っています。
- ・ つやま産業塾で学んだ考え方、その場の空気感を会社へと持ち帰ることで日常業務や他の講座に活かすことができました。

# 講座風景



## 第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第11回実施報告

- 1 日時 平成26年8月8日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 参加者 塾生14名 人財バンク会員3名
- 4 講義内容

第18期「経営能力開発講座」の最後となる第11回では、塾生による成果発表会、修了証書授与、閉講式を行いました。

今回の成果発表会は、6人の塾生が発表しました。発表内容は、講座で学んだことが業務にどう活かされたか、一年間の実績、仲間へのアドバイス、つやま産業塾への提案など多岐に渡りました。また発表形式も、パワーポイントやスケッチブックをめくる形での発表など、発表方法の面でもそれぞれの塾生の個性が表れる発表会となりました。

### 塾生の意見・感想等

- ・ 産業塾内で原理原則的なやり方を学べたこと、そのことにより、自分自身で実践できると確信できたことが自分の中で一番の成果であったと思います。
- ・ 質問力の大切さを学びました。コーチング講座や、塾生メンバーの質問力の高さを目の当たりにしたことで、質問により学び深める重要性を学びました。現在は、上司に質問することで、意見が通りやすくなってきたと感じています。
- ・ プレゼンテーションの講座を受けてからは、職場で発言機会がある度に学んだ手法を実践するように努めています。
- ・ 会社経営に必要な勉強をさせて頂き、まだまだ自分には足りないものが沢山あると気づきました。コーチングの講座で学んだ手法は、仕事だけでなく家庭でも役に立っています。
- ・ 「経営者の思いを聴く」の講義は同業種ということもあり、刺激になりました。講義をきっかけとして新たな製品(家具)を制作しました。
- ・ 産業塾で学んだことを実践するよう心掛けており、社内での発言回数も増えてきたと感じています。

成果発表後は、修了基準(出席率6割以上)を満たした塾生14人に可児塾長から修了証書が授与されました。

最後に、可児塾長より「塾生の皆さん、一年間ご苦労様でした。この塾は、皆さんが経営力を伸ばすためのきっかけやヒントを用意するものであると考えています。誰かに教えてもらうだけでなく、自ら学んでいくという学問の姿勢が大事です。今後も、この塾で学んだことを職場で実践しながら、自分を磨いていってください。また、企業経営の究極の目標は何であるか、この世の中で幸せを分かち合う経営とはどういうものかを考えていってください。」との講話がありました。

事務局としても、第18期塾生の皆さんが産業塾で学んだことを活かし、地域や職場で活躍されることを期待しています。

講座風景

